

平成28年度 水道事業決算状況

1 事業の概況

(1) 給水状況

本年度における給水人口は596,493人で、前年度に比べ3,020人(0.51%)の増、給水世帯数は276,457世帯で、前年度に比べ3,989世帯(1.46%)の増となりました。

また、年間配水量は63,927,205 m³で、前年度に比べ187,771 m³(△0.29%)の減となり、有収水量は57,865,348 m³で、有収率は90.52%となりました。

(2) 建設改良事業

拡張事業では、802,996,565円を投じ、安定給水の向上と災害時等の給水対策のため、管網未整備路線の出水不良の改善と区画整理地区において管の布設を必要とする箇所を対象に、配水管布設工事を行い、口径75~400mmの配水管5,711mを布設しました。

一方、改良事業では、3,345,346,090円を投じ、老朽铸铁管等の更新のため配水管布設工事等として口径75~600mmの配水管等10,971mを布設し、また、老朽化した施設の更新のため浄配水場整備工事を実施しました。

改良事業の浄配水場整備工事は、平成27年度から平成28年度の2カ年継続事業である新郷浄水場テレメータ装置ほか更新工事を始め、平成28年度から平成29年度の2カ年継続事業である石神配水場受配電設備等更新工事・石神配水場ポンプ設備更新工事のほか、神根浄水場4号井掘替工事等を行いました。

2 経理の状況

(1) 収益的収支の状況(消費税及び地方消費税抜き)

収益的収入における総収益は11,132,807,254円で、前年度に比べ141,358,064円(1.29%)の増となりました。増加の主な理由は、水道利用加入金の増によるものです。

一方、支出に係る費用総額は10,111,922,435円で、前年度に比べ117,851,316円(1.18%)の増となりました。増加の主な理由は、配水及び給水費並びに減価償却費の増によるものです。

以上、収益的収支において当年度純利益1,020,884,819円の計上となりました。

(2) 資本的収支の状況(消費税及び地方消費税込み)

資本的支出の総額は5,719,565,742円で、内容は建設改良費4,174,031,435円と企業債償還金1,545,534,307円で、これに対する収入総額は2,436,993,339円で、内訳は、企業債2,300,000,000円、受託工事収入50,100,000円等となっております。

これに伴う収支不足額3,282,572,403円は、減債積立金1,000,000,000円、過年度分損益勘定留保資金2,006,825,718円並びに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額275,746,685円で補てんしました。